

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 205

2021・01・13

新年の白紙綴じたる句帖かな

—正岡子規—

新しい年が明けました。

今年の干支は辛丑（かのとうし）。

従来のもので変化し、

新しい生命が息吹く時という意味があるということです。

COVID - 19 対応で、日本のみならず

世界中が疲弊してしまったようだった

2020年。

2021年は生命力あふれた年になり

ますように。

今年もよろしく願いいたします。

○ CONTENTS ○		PAGE
☆ 新年あけましておめでとうございます 鎌倉市長 松尾崇		…1
☆ ファンタスティック☆ライブラリー109 開催に向けて		…2
	鎌倉市中央図書館 山本里佳	
☆ ファンタスティック☆ライブラリー109 実行委員会報告		…3
☆ 今年も「図書館振興基金」へ寄付をしました		
☆ 第5回 間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会報告		…4
☆ 「松坂文庫付属資料」の「再」発見と調査 袴田 潤一		…5
☆ 近代史資料収蔵庫(仮称)と「図書館振興基金」活用資料 全点 見学報告!!		…6
☆ 映画と本と図書館と／かまくら銀幕上映会のお知らせ		…7
☆ オンライン会議講座報告／ボラ協報告／協働部会報告		…8
☆ 2020年活動報告・2021年活動計画		…9
☆ 各会報告：読書会・ひこうせん・朗読会・間島夫妻の会		…10
☆ 総会案内・会費納入のお願い・寄付者の紹介・入会のお誘い		…11
☆ 事務局から		…12



新年あけましておめでとうございます。

鎌倉市長 松尾 崇

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

「図書館とともだち・鎌倉」の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、皆様におかれましては、日頃から本市の図書館への多大なるご支援をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

昨年は、日本だけでなく、世界的に見ても、新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活はかつて経験したことのない状況を余儀なくされました。

図書館もコロナの影響により臨時休館しなければならず、利用されている皆様には大変ご不便をおかけいたしました。現在は、皆様の安全と健康を守るため、感染症対策をとって業務を行っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

コロナ禍によりわたしたちの生活は一変し、今までの「当たり前」が当たり前ではなくなり、多くの事に改めて気づかされました。このような状況になり、図書館が市民にとってより身近な情報センター



松尾 崇 鎌倉市長

の拠点であることの必要性を感じる機会ともなり、教育委員会とさらに連携して運営に取り組んで参ります。

さて、本年は、旧鎌倉図書館や鎌倉国宝館などの設立に際し、多大な貢献をされた間島弟彦氏（1871～1928）の生誕 150 年を迎えます。旧鎌倉図書館は、昭和 11 年、間島弟彦氏の遺志を継いだ愛子夫人の多額の寄附をはじめ、多くの方々の支援を受け設立され、昭和 49 年に現在の中央図書館が開設されるまで、長く市民に親しまれてきました。この節目の年に鎌倉市は、鎌倉国宝館において特別展「(仮) 間島弟彦と鎌倉国宝館」展を開催いたします。この事業は、令和元年 11 月に締結した青山学院大学との連携協力をきっかけに、関連資料を所蔵する青山学院資料センターのご協力のもと特別展を開催するものです。市民の皆様には、間島弟彦氏による近代鎌倉の形成への功績を知っていただく好機と考えております。

青山学院大学とは、締結の契機となりました妙本寺ゆかりの仙覚律師による中世万葉集研究はじめ、2022 年に NHK で放映予定の大河ドラマ『鎌倉殿の 13 人』にかかる研究も進めており、近代における間島弟彦顕彰ともあわせて、より多くの市民の皆様の歴史文化に対する興味喚起を目指してまいりますので、図書館の魅力を通じて幅広い活動を行っている会員の皆様には、引き続き変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに「図書館とともだち・鎌倉」のますますのご発展と、本年が会員の皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

今年もファンタスティック☆ライブラリーが開催されます！

市民と職員の協働事業である「ファンタスティック☆ライブラリー」は、鎌倉市内の 5 つの図書館がそれぞれの地域性を生かして実施する年に一度の「としょかんまつり」です。COVID-19 の影響下、本年度は WEB でも楽しんでいただける新しい試みに挑戦することになりました。

奮闘する担当司書さんからの意欲あふれるメッセージをお届けします！

ファンタスティック☆ライブラリー 109 開催に向けて

鎌倉市中央図書館 山本里佳

ファンタスティック☆ライブラリーは平成 20 年（2008 年）に市民活動団体との協働事業としてスタート。『図書館とともだちになろう』をテーマに、図書館を利用していない人には足を運んでもらうきっかけを、普段から図書館を利用している人にはもっと図書館を好きになってもらおうという思いを込め、さまざまな催しを企画し、たくさんの方に楽しんでいただきました。現在は、図書館で活動する市民団体と図書館が共に実行委員会形式で企画・運営しています。

13 回目を迎える今年は新たなファンタスティック☆ライブラリーを模索し、去年からアイデアを練ってきました。新型コロナウイルス感染症という予想外の事態により、やむなく中止か…という時こそ、ファンタスティック☆ライブラリーを絶やさない!! という強い決意で“今”できることを考え、市内を巡回するパネル展示で今までのあゆみ、参加団体の紹介や研究成果の発表という形で、次に繋げることにしました。新型コロナ感染の終息が見通せない中、リアルな図書館だけでなく、web 上でもご覧いただける特設ページを開設予定です。開館時間を気にせず、いつでもどこでもご覧いただけます。

これからもたくさんの方に「図書館とともだちになってもらいたい」と願いをこめて。



ファンタスティック☆ライブラリー109実行委員会報告

(11月26日於：中央図書館多目的室)

11月26日(木)14:00~15:30、ファンタスティック☆ライブラリー実行委員会が行われました。3団体6名と図書館員3名の合計9名の参加でした。

前回の委員会で話し合った企画や計画に沿ってテーマや内容がおおよそ決まりました。

団体名	テーマ	内容
かまくら女性史の会	続・腰越に生きた女性たち	昨年までの研究と進捗を含め発表
鎌倉視聴覚協会	あゆみ	ご挨拶と今までのポスター等
松坡文庫研究会	田辺松坡と松坡文庫	活動報告と動画配信を検討中
TOTOMO : おはなしひこうせん	絵本で旅をしませんか	パネル展示と絵本展示
TOTOMO : 間島弟彦・愛子夫妻 旌徳の会	間島夫妻と鎌倉	発足の経緯と活動の紹介

今年度はイベント自粛になっていることもあり、定例会に出席している団体のみの参加となりました。展示にあたり、データチェック及び印刷などの作業が必要となるので、展示物の最終締め切りは令和3年1月17日(日)となります。展示期間については1月最終週~3月初旬を予定しています。

今年度のファンタスティック☆ライブラリーは例年と違う形で、展示中心となります。展示物は5館全館を巡回します。図書館のホームページにファンタスティック☆ライブラリー期間中の特設ページを作り、展示スケジュール及び展示物の画像紹介は同ホームページに掲載予定です。

動画配信についての説明もありました。鎌倉市公式YouTubeチャンネルが使えるなら、広報広聴課にデータ提出後、公式チャンネルにアップされます。1本1~10分程度です。Twitterなら図書館単独で動画をあげられますが、2分40秒以内、ということです。

TOTOMOからは阿部(松坡文庫研究会 兼務)、杉崎、水岡が参加しました。

次回は令和3年3月18日(木)14:00~ 中央図書館多目的室です。(水岡やす子)



今年度も

「図書館振興基金」へ寄付をしました

12月9日、今年度も「図書館振興基金」へ10,000円の寄付をしました。鎌倉市図書館100周年の2011年に制定された「鎌倉市図書館振興基金」。TOTOMOでは、翌年2012年より、毎年10,000円を、2017年にはNPOフェスティバルでの古本市の売り上げから、25,000円を寄付してまいりました。総額は、115,000円になります。今後も、図書館振興基金の行方を見守りながら、ささやかではありますが寄付を続けていきたいと思っております。(杉崎敦子)



朴澤中央図書館長へ寄付金をお届けしました

図書館振興基金 <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/fund.html>

第 5 回 間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会 報告

(12月2日 於：NPO センター鎌倉)

間島弟彦・愛子夫妻は大正昭和にかけて鎌倉に住み、国宝館や旧鎌倉図書館の建設費用の寄付、英勝寺山門の復元保存など、鎌倉の発展のために大きな功績を尽くされました。

しかしながら間島夫妻のその功績、特に愛子夫人の足跡はひっそりとしています。

前回(10月5日)正式名称が決まり本格的に第一歩を踏み出した気持ちで参加した会合でした。

冒頭、この2ヶ月間の主な動きとしては次の報告がありました。



『問島弟彦集』上・下 拡大複製版
(鎌倉市中央図書館蔵)

■中央図書館に所蔵されている貴重書『問島弟彦集』上・下の拡大複製版が司書の手で作成された。これにより同書の一般貸出が可能になるとともに、活版印刷の雰囲気も楽しむことができる。

■松坡文庫研究会の袴田代表より2点の情報を頂いた。

①御岳溪谷にある武蔵御嶽神社宝物館に、弟彦氏の父である冬道氏の詠まれた歌が展示されている。

七代の滝『木立ふり巖苔むし萬代も経にけむ滝を七代といふらん』
正5位 間島冬道

②「藝大コレクション展 2020—藝大年代記」に肖像画家として高名な白瀧幾之助氏の自画像が展示されている。氏は、弟彦氏の義弟であり、『問島弟彦集上』『問島愛歌集』にそれぞれの肖像画が掲載されている。



「藝大コレクション展 2020—藝大年代記」
パンフレット
(東京藝術大学大学美術館提供)

次に、「間島愛子氏の経歴を問島愛歌集から辿る」の表題で、阿部が研究の中途発表をしました。愛子氏が結婚に至るまで、どのような環境で育ち、教育を受けられたか、交友関係から辿る試みをしてきましたが、あたることのできた資料が非常に少なく、引き続きの課題です。COVID-19 第3波の中、図書館での作業が思うように捗らない昨今です。調査にあたっては国立国会図書館のデジタルコレクションを大いに利用したいのですが、鎌倉市では配信館に指定された中央図書館のみでしか利用できません。中央以外の各地域館でも是非利用できるようにして頂きたいと切望しています。

最後に、1月最終週から3月初旬にかけて図書館5館で行われるファンタスティック☆ライブラリー109参加に向けて具体的な方法・内容について検討しました。「間島弟彦・間島愛子夫妻と鎌倉」をテーマに、夫妻の生涯や功績をわかりやすく展示できればと思います。コロナの感染再拡大によって図書館での展示が中止される恐れもあることから、オンラインによる展示も併せて実施されることになりました。

今年は間島弟彦氏生誕150年の記念すべき節目の年です。多くの方がご覧くださることを願って準備を進めます。

(阿部光世)

「松坡文庫付属資料」の「再」発見と調査

松坡文庫研究会 代表 袴田 潤一

COVID-19 流行下、研究会の例会が持てなかった時期の昨年 7 月初め、鎌倉市中央図書館の近代史資料室の資料保存箱の中に田辺松坡（新之助）関連の資料があることがわかりました。「海上家文書」と記された 3 つの箱の中に、海上寿子氏関連の資料に雑然と交じっていたのです。昭和 62（1987）年 10 月に木村彦三郎先生を中心に鎌倉市中央図書館で行われた「鎌倉在住文化人遺作展」の展示品及び資料が、展示終了後にまとめられたものだと思われ、松坡関連資料が初めから海上家文書に含まれていたということではないようです。松坡関連資料のそもそもの来歴は不明です。この一群の資料は「松坡文庫付属資料」と呼ぶのが相応しいと考えています。

「松坡文庫関連資料」は、①田辺松坡（及び松社同人）の遺墨 ②田辺松坡の遺稿 ③松社同人関連文書（遺稿を含む） ④晚翠吟社周辺の漢詩人の遺稿や書簡 から成ります。

④については、^{むこうやまこうそん} 向山黄村（^{えいごろう} 栄五郎）、^{すぎうらばいたん} 杉浦梅潭（^{まこと} 誠）、^{たなべれんしゅう} 田辺蓮舟（^{たいち} 太一）、^{かわだかんどう} 河田貫堂（^{ひろむ} 熙）、^{にしおかぎ} 西岡宜軒（^{けん} 逾明）、^{みやもとおうほく} 宮本鴨北（^{こいち} 小一）、^{がれいしゅう} 何蠡舟（^{のりゆき} 礼之）、^{せきざわ} 関澤霞庵（^{あん} 清修）、^{よしのが} 岡崎春石（^{おかざきしゆんせき} 壮太郎）など、多くが優れた幕僚でもあり、近代日本漢詩界を代表する詩人たちの詩稿が数多く、松坡研究にとって



「松坡文庫関連資料」草稿類（鎌倉市中央図書館蔵）

だけでなく、近代日本漢詩研究にとって重要な資料だと考えられます。詳細な分析は今後の課題です。

①②からは、昭和 9（1934）年初めに亡くなった松坡の孫横地武子さんが自死であったことが判り、それまで読んできた松坡の追悼詩の一句一句が新しい意味を帯びることにもなったのです。また、多くの墓誌・碑文の草稿からは推敲の跡が窺われ、興味深いことです。「山田先生紀徳碑」稿、「梅田隧道碑」稿の存在から、横浜市泉区の中和田公園に立つ「山田先生紀徳碑」、横須賀市浦郷町にある「梅田隧道之碑」の現地調査を行うこともできました。梅田隧道は横須賀の民用隧道第一号で、しかも地元住民の力によって建設されたものです。碑は隧道完成の 28 年後に先人の業を称える目的で地域住民によって建てられましたが、松坡はその熱意に応えて見事な文章を書いています。また、その碑が今日でも大切に保存されていることも私たちにとって嬉しいことでした。



梅田隧道之碑

昨年 8 月に再開された月例研究会はそれら多くの資料についての報告・検討が中心となり、充実したものになっています。資料のひとつひとつからは新しい発見が続き、松坡先生はこれからもなかなか私たちを解放してはくれないようです。



近代史資料収蔵庫（仮称）と「図書館振興基金」活用資料全点 見学報告!!

(11月10日 於：中央図書館)

鎌倉市図書館では、「ふるさと納税」等からの寄付金を「鎌倉市図書館振興基金」として積み立て、「消耗品」ではなく「備品」扱いとなる10万円以上の地域・郷土資料の購入や、既存の貴重資料の修復、デジタル化などに活用しています。

昨年11月10日、基金が活用された貴重資料の閲覧や、着々と整理が進む中央図書館近代史資料収蔵庫（仮称）を見学する機会に恵まれました。

「窓を全開にして換気を十分に、今日は虫干しを兼ねて、図書館振興基金を活用した資料のすべてを並べてみました。こんなことは私たちも初めてのことです！」との司書さんの言葉に一同歓声をあげ、爽やかな秋空を見上げて感謝！感謝！です。

すでに図書館HPで公開されている資料もありますが、丁寧な説明を聴きながら実際に資料にふれるアナログ体験は、質、量、空気感ともにパソコン画面では感じ取れない格別のものでした。

特に、来年度予算で補修やデジタル化が予定されている**彩色絵図「柏尾川関係資料(計20枚)」**は、阿久和川(横浜市)との合流地点から境川(藤沢市)との合流～河口部までの流域を示す20枚もの絵図を丁寧につなぎ合わせた形態で床一面に並べられ、壮観です。幕末から明治初め頃の、流域にある鎌倉の村々や橋の名、海からの距離などが細筆で詳しく記され、柏尾川を鳥の目で俯瞰できる第一級の歴史資料と思いました。続いて、同年度、購入・デジタル化が予定されている**「鎌倉町二階堂村切図 全11図」**も興味深く拝見しました。また、既に修復や額装がなった資料が中性紙箱に収められ、永年保存にふさわしい取扱いがされていることを見聞きし安心しました。

再来年度には、「**田辺松坡関係資料**」の補修やデジタル化が予定されているとのこと。松方正義、^{まつかた まさよし}呉昌碩、^{ごしょうせき おのこうざん}小野湖山から田邊松坡へ送られた為書の書で、何れも大変稀少であることは素人にも想像できます。寄贈されて70年以上公開されずにいたことに驚きましたが、無事に引き継がれてきたことを喜び、今後は「鎌倉の近代遺産」として責任をもって後世に引き継いで頂きたいと願います。幸い、図書館では、複数



床一面に並べられた貴重資料

の市民団体との共同研究が長年にわたって行われていますので、市や教育委員会には、関連予算や専門的職員の配置など、必要な教育環境整備への責任を果たして頂きたいと思っております。

また、短時間になりましたが、近代史資料収蔵庫（仮称）や総務課より一時的に移管されている歴史的公文書の仕分け作業場、公文書箱の保存状況等も併せて見学しました。確実に整理作業が進んでいるものの、多くの課題があることもわかりました。

なお、今回は「図書館振興基金」の創設や近代史資料の整理を強く後押しくださった市議会議員の皆様と一緒に見学したいと願い、事前に教育こどもみらい委員会所属の議員さんにお声掛けしました。当日は、千一議員、竹田ゆかり議員、保坂令子議員が参加され、「とても参考になった」「百聞は一見にしかずですね」「学校や議会、職員にも広く呼びかけて共有を図り、郷土資料の有効活用が進むようにしてほしい」など貴重な意見を頂くことができ幸いでした。お忙しい中、足をお運び頂いたことに感謝致します。

この度は、朴澤中央図書館長、浅見館長補佐、中田司書に対応して頂きました。千議員の車椅子が円滑に動けるよう、参加者全員がきちんと資料閲覧できるようにと、細やかにご配慮くださいました朴澤館長はじめ、職員の皆様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

(阿曾千代子)

近代史資料室：

<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/history/index.html>



第35回

映画と本と図書館

『黄色い星の子供たち』(原題: *La Rafle*)

(2010年・フランス・ドイツ・ハンガリー制作/監督:ローズ・ボッシュ)

ゴーモン/アルパトロス・フィルム配給(日本公開2011年)

「かまくら銀幕上映会」ナビゲーター 田邊恵美

2021年、新年明けましておめでとうございます。昨年の今頃ホテル・オークラ別館の部屋で武漢由来の新型肺炎のニュースを見て「またSARSやMERSみたいのが出たか」と、対岸の火事かと思っていた私でした。谷口吉郎らによる今は亡き旧本館の傍でその息吹を感じられる建物はオリパラが終わる迄延命された、筈だったのだが…

あれからあっという間に世界を覆い尽くしたコロナウィルスが心理的に重苦しいのは、未だ正体が解明されず疑心暗鬼に対策を取り、そして誰もが明日は我が身かという不安ゆえか。健康は正義で、罹患は敗者？

誰が罹患したか、が差別を生む事もある。次に自分がされる側になったら…。差別と迫害は人類史の始めから止む事が無い。これは社会で完全に収まらない『いじめ』がグローバル化したものかもしれない。ひょっとしたら、人類等しく『いじめられる側』を体験出来る機会を与えられてしまったのか！

この映画の中、ナチス占領下のパリで「自分達は大丈夫なのだろうか」と不安を感じながら集まって暮らすユダヤ人の家での娯楽の一つが本の朗読を聞く事。アイロンをかけながら交わされる会話

『風と共に去りぬ』を読んで

「また泣くわよ」

「いいの。現実を忘れられるから」

今は体内に溜まった不安ストレス物質を涙で放出するのも一策かもしれない。今回のメに、鎌倉でユダヤ人の行く末を憂い力を尽くした或る男の熱い人生を描いた本を紹介します。本も映画も心の栄養。今年も良い出会いがありますように。

『命のビザを繋いだ男 小辻節三とユダヤ難民』 NHK出版

山田 純大 著 (あの『半沢直樹』にも出ていた俳優さん)

◎参考 URL (鎌倉市教育委員会作成「命のビザをつないだ小辻節三」)

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyouiku-shidou/documents/setsuzou.pdf>

かまくら銀幕上映会のお知らせ (主催: ドリーム・アーツ (03-5969-8081) 於: 鎌倉芸術館小ホール)

1/21 (木) 『剣の舞 わが心の旋律』 2/2 (火) 『パヴァロッティ 太陽のテノール』

2/22 (月) 『ポルトガル、夏の終わり』

3/8 (月) 『アルツハイマーと僕〜グレンキャンベル音楽の奇跡〜』

3/23 (火) 『9人の翻訳家 囚われたベストセラー』

◎前売り券: 1000円 (当日券: 1300円) ◎上映時間①11:00~ ②14:00~

☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館(0467-48-5500)へお問い合わせください。

☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます

オンライン会議講座参加報告(11月12、19日 於:NPOセンター鎌倉)

11月に行われたNPOセンター主催のオンライン会議講座に参加しました。今一番普及しているzoomについての講座です。TOTOMOではこれまでに3回zoom会議を実施しましたがいつも見様見真似。未体験のメンバーに説明する為にも一から学んでみることにしました。

1回目はアプリをインストールし、それぞれのボタンの機能や初歩的なトラブル解消法などを習いました。2回目はホストとしてミーティングを作成、運営する練習です。ホストとなるにはアカウントの作成が必要ですが、皆が一斉に繋がろうとした為か、PCがフリーズしてアカウントを作成できません。色々躓きもありましたが、最後にはスケジュールから新しいミーティングを作成し、他の人を招待するところまでを学びました。私は既にアカウントを持っていましたし初めて知ることは多くはありませんでしたが、こうして仲間たちと学ぶのはとても楽しい体験でした。これを機に、TOTOMOでももっとオンライン会議を開催できればと思っています。



ボランティア連絡協議会委員会報告 (12月17日 於:福祉センター)

12月の委員会も二交代制をとりました。合わせて30名超の出席者がありました。

社協ボランティアセンターからの来年度の登録関係のご案内に続き、協議に入りました。主なテーマは新年会の実施についてです。ボラ協委員会では、飲食は取りやめ、映像でのグループ活動発表やパネル展示、物品販売などで実施できる道を探ってきました。ですがここ数日の感染状況や国の対応等も考えあわせ、出席者に開催の是非を問いました。各委員からは、時期にこだわらず後日親睦会を行うなど柔軟な対応をとるのが良いのではないかという意見が多数を占め、予定していた日程(1月21日)での新年会は中止することになりました。

またこの日は「鎌倉はまなみベーカリー」のパンの販売もあり、委員会帰りには皆買い物を楽しみました。これは相次ぐイベントの中止で販路の多くを絶たれてしまったこの作業所への協力事業として行なったものです。※[「鎌倉はまなみ」は社会福祉法人清和会](#)が運営する授産施設で、製パン、販売を通して地域の市民との交流を図り、社会参加を進めています。

協働事業推進部会報告 (12月18日 於:NPOセンター鎌倉)

地域のつながり課からは、今年度の職員協働事業研修の状況等の報告がありました。今年度はオンラインでの講習やアンケート等を行っています。具体的な内容についても当部会に知らせてほしいという意見が出ました。また、来年度の市民協働事業は今年度実施予定だった3事業を実施することとし、新規募集は行わないとのことでした。昨年「つながる鎌倉条例」制定に伴い設置された市民活動推進委員会において今後の市民協働を見直す年となります。これについても、市と市民団体をつなぐ立場である当部会には委員会での決定事項だけでなくこまめな情報を寄せてほしいという意見が多く出されました。

討議事項は協働事業推進部会の役割として加盟団体の活動支援についてでしたが、その中で「アルペなんみんセンター」の話が出ました。12月4日(金)に理事長ほか4名で同センターを見学しました。私も参加しましたが緑溢れる広々とした敷地を持つ施設で、現在8名の難民が滞在しています。市民活動の場としても大いに可能性を感じました。その後複数の子育て支援団体等も見学し話合いが進んでいます。当部会としてはこれからも団体間での協働の手助けをしていきたいと考えています。

(本ページの3報告は黒瀬が担当しました)

2020 年度活動報告

<重点事業>

- ① 旧鎌倉図書館保全活動
- ② 障害者サービス関連事業
- ③ 間島夫妻学習会（仮称）
- ④ 図書館長、図書館員、図書館協議会委員との懇談など
- ⑤ ファンタスティック☆ライブラリー企画・参加
- ⑥ 図書館見学会
- ⑦ NPO フェスティバル、地下道ギャラリー展、
その他イベントへの参加
- ⑧ 会報発行、定例活動

発足し、新たな資料を発見するなど、多くの成果を上げています。④⑥は当初考えていたような皆で机を囲んで話す機会や外部図書館の見学会はできませんでしたが、市長、教育長、図書館長とは面談することができました。中央図書館近代史資料室の見学会も2回実施し、いずれも興味深いものでした。⑦規模を縮小して行われたNPOフェスティバルにもポスター展示で参加しました。⑧定例活動は集まりを休んだ時期もありましたが、会報は予定通りすべて発行しました。201号のみオンライン発行とし、後日印刷するという方法をとりました。⑤ファンタスティック☆ライブラリーは開催時期が2月となったため、現在準備中です。今年は展示が中心となり、図書館HPの特設ページでも閲覧できる予定です。様々なことを諦めてきた2020年ですが、新たな可能性を感じています。

誰にとっても想像だにできなかった日々の連続となった2020年。活動の在り方や図書館の役割を改めて考えた一年でもありました。

重点事業のうち①は途中手付かずの状態が続きましたが、10月にこども支援課職員の話聞く機会を持ちました。②は取り組むことができませんでした。いずれ安心して交流できるようになる頃に、再び挑戦したいと思います。③の学習会は正式に

2021 年度活動計画

<重点事業>

- ① 図書館司書職員採用に向けた取り組み
- ② 旧鎌倉図書館保全活動
- ③ 図書館長、図書館員、図書館協議会委員との懇談など
- ④ ファンタスティック☆ライブラリー企画・参加
- ⑤ 図書館見学会
- ⑥ NPO フェスティバル、地下道ギャラリー展、
その他イベントへの参加
- ⑦ 会報発行、定例活動

COVID-19の影響下から抜け出せるのがいつになるのか見通すことはできません。私たちは大切だと考えることを、できる範囲で取り組んでいきたいと思います。

2020年には全国の多くの図書館が一時休館を余儀なくされました。その影響がどれほどのものだったのか今はまだわかりません。ですが図書館に限らず非常時こそ、その対応に当たる人たちの力量がものを言う

ことを実感した年でした。私たちは発会以来、図書館の専門的職員の大切さを訴えてきましたが、残念ながら改善の兆しはありません。予算が増える見込みのない中どのような取り組みが功を奏するのか手探りの状態ですが、今年の重点項目として掲げたいと思います。

会報201号からメール送信に一層力を入れ、オンラインでも読んでくださる方が増えました。そのためか、ご感想を寄せてくださる方も多く、大変励みになっています。今年も皆様からのご意見をお待ちしています。ご協力、よろしくお願い致します。

♪TOTOMO では、4つの会が通年で活動しています。昨年の活動をご紹介します♪

☆読書会 報告☆

今年度は、COVID-19の影響を受けて、例年の半分3回の開催でした。1月の開催の後、休会が続き、再開できたのは9月。お茶のサービスもできず、マスク、消毒、換気は必須での開催でしたが、集まって語り合えることの楽しさを再確認しました。開催できなかった間には、メールで近況をやり取りし、自粛期間中に読まれた本をご紹介いただきました。まだ、COVID-19の終息は見えていませんが、外出がままならなくとも、本は心の旅！読書を楽しんで苦しい時を乗り越えたいと思います。

(杉崎敦子)



☆おはなしひこうせん 報告☆

第22回会員総会では、ひこうせんと朗読会のメンバーでおはなし会を行い、皆さまに楽しんでいただきました。その後、COVID-19の影響で3月から5月まで休会し、福祉センターの利用が可能になった6月から活動を再開しました。活動の中心は、2月に開催予定のファンタスティック☆ライブラリー109の準備で「絵本で旅をしませんか」をテーマに様々な旅の絵本や紙芝居をパネル展示で紹介する予定です。

(杉崎敦子)

ひこうせん勉強会



☆ととも朗読の会 報告☆

保育園の4歳、5歳、6歳の子ども達は、いつも朝から元気です。

毎月4冊の絵本を読み、手遊びをします。3月には、小学生になる子ども達が頼もしく思えました。

4月からは、新しい子どもと会えると楽しみにしていました。しかし、コロナ禍が広がりを見せていました。そこで、私達から保育園には伺わないことになりました。定期朗読会なども、自粛しました。

同じ空間での本との出会い、人との集まりは、豊かな気持ちを持てる時間です。

これからのことは、ゆっくりと対応を考えていきます。



TOTOMO 総会で朗読(2020年1月)

(中村都子)

☆間島弟彦・間島愛子 旌徳の会 報告☆

鎌倉の発展のために大きな功績を遺された間島弟彦・間島愛子夫妻を顕彰し、その記録を残してお二人の遺徳を後世に伝えることを目的に、2月新たに発足しました。2011年の鎌倉図書館100周年記念事業や2015年から続く旧鎌倉図書館保存活動を行う中で間島夫妻への思いが深まり、2019年秋から設立準備を進めてきましたが、昨年ついに実現することができました。

今後は、隔月に一度会員が集い、手分けして間島夫妻の生涯を辿り、鎌倉における足跡を整理しながらその成果を纏めていく予定です。

(阿曾千代子)

2020年度 会員総会

日時：2021年1月31日（日）

今までの活動を振り返り、今後の活動につなげるために今年度も会員総会を行います。COVID-19による緊急事態宣言の実施中ですので、集会の形式は取らず、書面での総会といたします。別送のご案内と総会資料をご覧の上、議案へのご意見、ご承認への協力よろしくお願いいたします。
お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。



◎年会費納入と会員拡大のご協力のお願い◎

本年も「図書館とともだち・鎌倉」の活動が充実したものとなりますよう、会費の納入をお願いいたします。

21年度会費（1-12月分）一口1,000円

ゆうちょ口座番号 00230-5-16611

ゆうちょ口座名 図書館とともだち・鎌倉



2020年度 ご寄付くださった方々

☆2020年度も多くの方にご寄付をいただきました。ここにご報告し、心よりお礼申し上げます。
下田ひとみ、山村みや子、福富昭江、高柴圭子、大木禮子、五十嵐廣雄、山下すみ子、吉田皓二、三浦邦雄、曾原糸子、高橋円、海老澤恵子、木村みどり、池畑紀美代、林緑、木村ゆき、渡辺紘治、渡邊久美子、西内真子、黒瀬聖子、酒井雅江
その他匿名の方々。 (ご寄付いただいた順、敬称略)



TOTOMO活動日誌 (11/26~1/13)

11/26	F☆L実行委員会	12/17	おはなしひろくせん勉強会
12/2	間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会	12/17	ボランティア連絡協議会委員会出席
12/4	アルペなんみんセンター見学会参加	12/24	会計監査
12/9	図書館振興基金への寄付	2021年	
12/12	「鎌倉・文化の森」瀧下氏との懇談	1/13	総会資料発送
			定例会5回(12/2, 9, 16, 24, 1/6,)

TOTOMO COMING NEXT ! 事務局からのお知らせ



あけましておめでとうございます。今年もTOTOMOをよろしくお祈りします！
COVID-19が終息して、良い年になりますように。

第23回 2020年度会員総会

日 時：1月31日（日）
今までの活動を振り返り、今後の活動につなげるために今年度も会員総会を行います。COVID-19による緊急事態宣言の実施中ですので、書面での総会といたします。別送のご案内と総会資料をご覧の上、議案へのご意見、ご承認への協力よろしくお願いいたします。

お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

おはなしひこうせん勉強会

日 時：1月21日（木）10時～12時 場 所：NPOセンター大船にて
テーマ：ファンタスティック☆ライブラリーのひこうせん企画の準備をします。

お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

読 書 会

日 時：未定 場 所：未定
テーマ本：石井桃子著『ノンちゃん雲に乗る』（福音館書店）多和田葉子著『言葉と歩く日記』（岩波新書）です。

お問い合わせは、杉崎（TEL/FAX 0467-41-4956）まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時：2月3日（水）13時半～16時半 場 所：NPOセンター鎌倉にて
お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX 0467-45-5731）まで。

ファンタスティック☆ライブラリー109

日 時：1月最終週～3月初旬（予定） 場 所：市内各図書館
図書館を中心にかまくら女性史の会、鎌倉視聴覚協会、松坡文庫研究会、TOTOMO（おはなしひこうせん、間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会）のパネル展示などが行われます。詳細は、P2～3をご覧ください。お問い合わせは、市内各図書館まで。

※上記の各会については COVID-19 感染の状況により、変更になる可能性があります。

参加される方は、TOTOMOのHPやFBでご確認いただくか、お問い合わせください。

★図書館友の会全国連絡会

国に向けた要望書提出の準備や図友連会員へのアンケート調査、会員名簿管理運用細則や個人情報保護方針の策定など、同時進行で様々な検討が進行中です。

お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX：0467-45-5731）まで。



編集後記 * * * * *

☆鎌倉は晴天に恵まれ穏やかなお正月を迎えました。新しい生活様式を実践しながら、何ができるか考えていきたいと思えます。(A.S)

☆新しい年が始まるときは、何だか希望に満ちた気分になりますが、今年ばかりは心配が希望と同居している感じです。どうか一日も早く平穏な日々が訪れますように。(M.S)

題字・巻末カット：小島寅雄 2021年1月13日発行
図書館とともだち・鎌倉（代表：和田安弘）編集：阿曾・黒瀬・目黒・杉崎・斉木
事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34（黒瀬）TEL/FAX 0467-22-8545
HP：<http://totomo.sakura.ne.jp> E-mail：toshokantomodachi@gmail.com

